



WACOM® 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社ワコム 上場取引所 東
 コード番号 6727 URL https://www.wacom.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 井出 信孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 町田 洋一 TEL 03-5337-6502
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,916	22.3	2,217	—	2,098	—	1,508	—
2020年3月期第1四半期	17,100	△4.3	△259	—	△517	—	△119	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,533百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △538百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.28	—
2020年3月期第1四半期	△0.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	56,556	28,131	49.7	173.19
2020年3月期	51,156	27,735	54.2	170.75

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,131百万円 2020年3月期 27,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	0.5	5,600	0.6	5,600	7.8	4,000	2.1	24.63
	～ 91,500	～ 3.3	～ 6,500	～ 16.8	～ 6,500	～ 25.1	～ 4,600	～ 17.4	～ 28.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料 5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 11 ページ 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	166,546,400株	2020年3月期	166,546,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,121,301株	2020年3月期	4,121,301株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	162,425,099株	2020年3月期1Q	162,425,099株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 5 ページ 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）における当社グループを取り巻く事業環境において、世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行の影響により経済活動が著しく制限されたことから深刻な景気後退に陥りました。このような情勢下、IT市場では、IoT（モノのインターネット）による情報ネットワークの拡大やデータソースの多様化に加え、世界各地で人の移動制限によりモバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルネットワークへの重要性が高まり、それらに関連した技術革新や利便性向上などが見られました。なお、同期間の主要通貨に対する円相場は、各国の景気や金融・貿易政策等に対する見方を反映し、前年同期の平均レートと比較すると対ドル、対ユーロではそれぞれ僅かに円高、対中国元では小幅に円高となりました（為替変動による連結業績への影響は、売上高を約6億円押し下げ、営業利益を約2億円押し下げたと試算）。

このような事業環境の下、当社グループは、2019年3月期に策定した2022年3月期を最終年度とする中期経営計画「Wacom Chapter 2」の達成に向け、「テクノロジー・リーダーシップ・カンパニー」としてペンやインクのデジタル技術で常に市場の主導権を握りつつ、持続的な成長を目指してまいりました。当第1四半期連結累計期間では、2019年3月期よりスタートした経営チームの下で、IoT、VR（仮想現実）/MR（複合現実）、AI（人工知能）、セキュリティ（安全性）といった成長分野において、事業モデルを一段と進化させるための将来戦略を協業先とともに推し進め、経営判断の質の向上を通して生産性やコスト構造の改善など経営課題にも全社的に取り組みました。

ブランド製品事業については、創造性発揮のための最高体験をお客様にお届けするため、技術革新に取り組むとともに、顧客サービスの向上に努めました。当第1四半期連結累計期間では、主力のクリエイティブソリューションにおいてペンタブレット製品を中心に販売を伸ばしたことなどから、ブランド製品事業全体としての売上高は、前年同期を上回りました。

テクノロジーソリューション事業については、デジタルペン技術（アクティブES：Active Electrostatic、EMR：Electro Magnetic Resonance）の事実上の標準化に取り組むとともに、タブレット・ノートPC市場での利用拡大や教育市場での事業機会の拡大に努めました。当第1四半期連結累計期間では、EMRテクノロジーソリューション他の売上高が前年同期を大幅に上回ったことなどから、テクノロジーソリューション事業全体としての売上高は、前年同期を上回りました。

中期経営計画の経営課題に対する全社的な取り組みとしては、利益重視の経営を目指し、組織やオペレーション（資材調達、生産管理等）の改革とコスト構造の改善などに努め、開発エンジニアリングやオペレーションにおいて事業間の垣根を越えた連携を図りました。一方で、販管費については必要性の見極めを行うなど最適化に引き続き取り組みました。

（注）新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行による当社グループの事業活動への影響及び取り組みについては、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明＜新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響及び取り組み＞」をご覧ください。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が20,916,052千円（前年同期比22.3%増）となり、営業利益は2,217,292千円（前年同期は営業損失259,054千円）、経常利益は2,097,863千円（前年同期は経常損失516,810千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,507,654千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失119,411千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、事業環境の変化に適合したより適切な業績説明を行うため、当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績説明におけるカテゴリーの範囲、名称及び記載順を一部変更しております。

① ブランド製品事業

<クリエイティブソリューション>

クリエイティブソリューションは、ペンタブレット製品の売上が前年同期を上回ったことなどから増収となりました。

○ ディスプレイ製品

「Wacom Cintiq Pro (ワコム シンティック プロ)」は、営業活動の制約、経年等により、前年同期の売上高を大幅に下回りました。一方で、前期に市場投入したエントリーモデル「Wacom Cintiq (ワコム シンティック) 22」、「Wacom One (ワコム ワン) 液晶ペンタブレット13」を中心に拡販に努めました。これらの結果、ディスプレイ製品全体の売上高は、前年同期を小幅に上回りました。

○ ペンタブレット製品

「Wacom Intuos Pro (ワコム インテュオス プロ)」は、営業活動の制約、経年等により、前年同期の売上高を下回りました。一方で、オンライン教育及びテレワークの普及に伴う需要増加により、「Wacom Intuos (ワコム インテュオス)」、「One by Wacom (ワン バイ ワコム)」は、いずれも前年同期の売上高を大幅に上回りました。これらの結果、ペンタブレット製品全体の売上高は、前年同期を大幅に上回りました。

○ モバイル製品他

デジタルペン搭載タブレット市場が拡大し競争環境が大きく変化するなか、前期に市場投入したWindows 10搭載クリエイティブタブレット「Wacom MobileStudio Pro (ワコム モバイルスタジオ プロ)」の拡販に努めたことにより、モバイル製品の売上高は、前年同期を僅かに上回りました。一方で、モバイル製品以外のスタイラスペン製品を中心とした売上高は、全体として前年同期を大幅に下回りました。これらの結果、モバイル製品他全体の売上高は、前年同期を下回りました。

<ビジネスソリューション>

液晶サインタブレット「STU (エスティユー)」シリーズの売上高は、営業活動の制約が生じ、主に欧州での減少が影響し、前年同期を大幅に下回りました。この結果、ビジネスソリューション全体の売上高は、前年同期を下回りました。

これらの結果、ブランド製品事業の売上高は10,789,206千円(前年同期比17.8%増)、セグメント利益は1,437,295千円(前年同期はセグメント損失206,870千円)となりました。

② テクノロジーソリューション事業

<AESテクノロジーソリューション>

生産、サプライチェーンオペレーションの制限があった中、AESテクノロジーソリューション全体の売上高は、前年同期を僅かに上回りました。アクティブES方式デジタルペン製品については、OEM(相手先ブランド名製造)提供先のメーカー各社から引き続き高い評価を得ております。

<EMRテクノロジーソリューション他>

OEM提供先のメーカー各社向けの売上高が大幅に増加しました。この結果、EMRテクノロジーソリューション他全体の売上高は、前年同期を大幅に上回りました。

これらの結果、テクノロジーソリューション事業の売上高は10,126,846千円(前年同期比27.6%増)、セグメント利益は1,744,856千円(同91.1%増)となりました。

<新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響及び取り組み>

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行による当第1四半期連結累計期間での当社グループの事業活動への影響及び取り組みについては、下記のとおりであります。

ブランド製品事業では、当第1四半期連結累計期間において、新製品に対する導入・販促活動が十分に展開できず、また、営業活動が制約されました。特に後者については、主にビジネスソリューションやクリエイティブソリューションのプロ向けのディスプレイ製品の販売に影響を及ぼしました。一方で、家庭でのオンライン教育の志向の高まりなどにより、主にクリエイティブソリューションのペンタブレット製品において中低価格帯モデルへの需要が見られました。

テクノロジーソリューション事業では、当第1四半期連結累計期間において、生産、サプライチェーンオペレーションが制限されたことなどから、主にAESテクノロジーソリューションの業績に影響を及ぼしました。

全社的な取り組みとしては、全世界的に、テレワークの実施等柔軟な勤務体制を継続することで、従業員の安全確保、感染拡大防止に向けた社会的責任の遂行を図りました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、56,555,714千円となり、前連結会計年度末に比べ5,400,011千円増加しました。これは主に、売掛金が2,146,205千円、商品及び製品が1,454,688千円及び流動資産のその他が1,049,527千円増加したことによります。

負債の残高は、28,424,567千円となり、前連結会計年度末に比べ5,003,638千円増加しました。これは主に、買掛金が4,950,793千円増加し、賞与引当金が757,531千円減少したことによります。

純資産の残高は、28,131,147千円となり、前連結会計年度末に比べ396,373千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益で1,507,654千円増加し、剰余金の配当で1,136,976千円減少したことによります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.5ポイント減少し、49.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、786,475千円増加（前年同期は1,283,912千円減少）し、当第1四半期連結会計期間末には22,327,942千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,276,920千円（前年同期は678,583千円の収入）となりました。これは、当第1四半期連結累計期間において仕入債務の増加額4,926,413千円及び税金等調整前四半期純利益2,045,057千円などの収入要因が、売上債権の増加額3,359,670千円及びたな卸資産の増加額1,277,826千円などの支出要因を上回ったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、262,023千円（前年同期は563,445千円の使用）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出211,880千円及び無形固定資産の取得による支出48,954千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,166,267千円（前年同期は1,030,354千円の使用）となりました。内訳は、配当金の支払額1,066,281千円及びリース負債の返済による支出99,986千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月8日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、依然として、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行の影響により、経済活動の回復度合いが極めて不透明であることを踏まえ、引き続き、レンジ形式による通期予想のみの開示としております。

今後の状況の変化によって、本見積りを修正する必要がある場合には、速やかに修正内容を開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,541,467	22,327,942
売掛金	9,522,532	11,668,737
商品及び製品	6,755,609	8,210,297
仕掛品	192,890	204,903
原材料及び貯蔵品	1,889,286	1,722,869
その他	2,297,735	3,347,262
貸倒引当金	△26,520	△30,681
流動資産合計	42,172,999	47,451,329
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	4,808,851	5,049,866
有形固定資産合計	4,808,851	5,049,866
無形固定資産		
その他	1,994,803	1,877,535
無形固定資産合計	1,994,803	1,877,535
投資その他の資産		
その他	2,237,371	2,235,305
貸倒引当金	△58,321	△58,321
投資その他の資産合計	2,179,050	2,176,984
固定資産合計	8,982,704	9,104,385
資産合計	51,155,703	56,555,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,623,640	11,574,433
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	5,000,000
未払法人税等	399,880	654,985
賞与引当金	1,071,520	313,989
役員賞与引当金	36,056	45,903
その他	5,138,660	5,569,160
流動負債合計	15,769,756	23,658,470
固定負債		
長期借入金	6,000,000	3,000,000
退職給付に係る負債	898,301	912,354
資産除去債務	251,032	251,938
その他	501,840	601,805
固定負債合計	7,651,173	4,766,097
負債合計	23,420,929	28,424,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,203,469	4,203,469
資本剰余金	6,100,962	6,100,962
利益剰余金	20,341,982	20,712,660
自己株式	△1,875,838	△1,875,838
株主資本合計	28,770,575	29,141,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,149	△4,975
為替換算調整勘定	△1,042,198	△1,015,931
退職給付に係る調整累計額	11,546	10,800
その他の包括利益累計額合計	△1,035,801	△1,010,106
純資産合計	27,734,774	28,131,147
負債純資産合計	51,155,703	56,555,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	17,100,007	20,916,052
売上原価	11,150,277	13,314,513
売上総利益	5,949,730	7,601,539
販売費及び一般管理費	6,208,784	5,384,247
営業利益又は営業損失(△)	△259,054	2,217,292
営業外収益		
受取利息	7,943	12,964
受取補償金	—	11,826
その他	9,116	14,372
営業外収益合計	17,059	39,162
営業外費用		
支払利息	11,744	9,588
為替差損	263,054	106,832
和解金	—	41,988
その他	17	183
営業外費用合計	274,815	158,591
経常利益又は経常損失(△)	△516,810	2,097,863
特別利益		
固定資産売却益	734	—
特別利益合計	734	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	50,171
その他	11	2,635
特別損失合計	11	52,806
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△516,087	2,045,057
法人税等	△396,676	537,403
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△119,411	1,507,654
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△119,411	1,507,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△119,411	1,507,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,924	174
為替換算調整勘定	△413,320	26,267
退職給付に係る調整額	87	△746
その他の包括利益合計	△418,157	25,695
四半期包括利益	△537,568	1,533,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△537,568	1,533,349
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△516,087	2,045,057
減価償却費	631,196	585,211
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,296	4,252
賞与引当金の増減額(△は減少)	△734,825	△756,333
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	8,401	9,847
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,319	13,018
受取利息及び受取配当金	△7,943	△12,964
支払利息	11,744	9,588
為替差損益(△は益)	212,154	97,329
有形固定資産売却損益(△は益)	△734	—
有形固定資産除却損	11	—
無形固定資産除却損	—	2,636
投資有価証券評価損益(△は益)	—	50,171
売上債権の増減額(△は増加)	△2,060,216	△3,359,670
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,059,762	△1,277,826
仕入債務の増減額(△は減少)	2,179,753	4,926,413
未払消費税等の増減額(△は減少)	393,497	203,379
その他	△244,300	43,367
小計	941,436	2,583,475
利息及び配当金の受取額	7,036	20,838
利息の支払額	△10,880	△8,944
法人税等の支払額	△259,009	△318,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	678,583	2,276,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△524,418	△211,880
無形固定資産の取得による支出	△38,596	△48,954
有形固定資産の売却による収入	734	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,165	△1,189
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563,445	△262,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△81,095	△99,986
配当金の支払額	△949,259	△1,066,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,030,354	△1,166,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	△368,696	△62,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,283,912	786,475
現金及び現金同等物の期首残高	16,762,726	21,541,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,478,814	22,327,942

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,161,331	7,938,676	17,100,007	—	17,100,007
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,161,331	7,938,676	17,100,007	—	17,100,007
セグメント利益又は 損失(△)	△206,870	912,952	706,082	△965,136	△259,054

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△965,136千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,789,206	10,126,846	20,916,052	—	20,916,052
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	10,789,206	10,126,846	20,916,052	—	20,916,052
セグメント利益	1,437,295	1,744,856	3,182,151	△964,859	2,217,292

(注) 1. セグメント利益の調整額△964,859千円は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

2021年3月期 第1四半期決算概要 (連結累計期間)

(1) 決算業績

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
売上高	17,100	20,916	3,816	22.3%
営業利益(-損失) (営業利益率)	-259 -1.5%	2,217 10.6%	2,476	--
経常利益(-損失) (経常利益率)	-517 -3.0%	2,098 10.0%	2,615	--
当期純利益(-損失) (当期純利益率)	-119 -0.7%	1,508 7.2%	1,627	--
P/L換算為替レート(期中平均)	円	円	円	
(USドル)	110.00	107.74	-2.26	-2.1%
(ユーロ)	123.29	118.94	-4.35	-3.5%

注) 当期純利益(損失)は、「親会社株主に帰属する当期純利益(損失)」に相当します。

(2) 事業セグメント別業績

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業				
売上高	9,161	10,789	1,628	17.8%
セグメント利益(-損失) (利益率)	-207 -2.3%	1,437 13.3%	1,644	--
テクノロジーソリューション事業				
売上高	7,939	10,127	2,188	27.6%
セグメント利益 (利益率)	913 11.5%	1,745 17.2%	832	91.1%

注) 各事業別の利益は、管理部門などコーポレート費用の「調整額」の消去前です。

(3) 製品ライン別売上

(現地法人別)	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業	9,161	10,789	1,628	17.8%
クリエイティブソリューション	8,226	10,045	1,819	22.1%
ディスプレイ	3,821	4,090	269	7.0%
(日本)	876	915	39	4.5%
(米国)	1,219	1,348	129	10.5%
(ドイツ)	710	695	-15	-2.2%
(アジア・オセアニア)	1,016	1,132	116	11.4%
ペンタブレット	3,940	5,557	1,617	41.1%
(日本)	328	452	124	37.6%
(米国)	1,040	1,350	310	29.9%
(ドイツ)	841	1,242	401	47.7%
(アジア・オセアニア)	1,731	2,513	782	45.2%
モバイル他	465	398	-67	-14.5%
(日本)	151	164	13	8.9%
(米国)	170	95	-75	-44.2%
(ドイツ)	68	90	22	31.2%
(アジア・オセアニア)	76	49	-27	-35.7%
ビジネスソリューション	935	744	-191	-20.4%
(日本)	248	220	-28	-11.2%
(米国)	111	148	37	33.4%
(ドイツ)	464	277	-187	-40.2%
(アジア・オセアニア)	112	99	-13	-12.1%
テクノロジーソリューション事業	7,939	10,127	2,188	27.6%
AESテクノロジー	4,613	4,735	122	2.7%
EMRテクノロジー他	3,326	5,392	2,066	62.1%
合計	17,100	20,916	3,816	22.3%

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) 2021年3月期での製品カテゴリーの見直しに伴い、ブランド製品事業の「コンシューマ」は「モバイル他」に統合し、テクノロジーソリューション事業の「スマートフォン向け」および「タブレット向け他」は「AESテクノロジー」および「EMRテクノロジー他」に組み替えて表示しています。

(4) 現地法人別売上

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
日本	9,542	11,878	2,336	24.5%
(うち、テクノロジーソリューション事業除く日本)	1,603	1,751	148	9.3%
米国	2,539	2,941	402	15.8%
ドイツ	2,083	2,304	221	10.6%
アジア・オセアニア	2,936	3,793	857	29.2%
合計	17,100	20,916	3,816	22.3%

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) ドイツは欧州・中東・アフリカ地域を含む。アジア・オセアニアは中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、台湾、インドの現地法人の合計です。

(5) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	Q1実績	Q1実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
資本的支出	602	456	-146	-24.4%
減価償却費	549	484	-65	-11.9%
研究開発費	1,060	934	-126	-11.9%

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。

注) 実績には、リース資産に関わる設備投資額および減価償却費を含めていません。

2021年3月期 通期決算予想(連結累計期間)

(1) 決算業績

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
売上高	88,580	89,000 ~ 91,500	420 ~ 2,920	0.5% ~ 3.3%
営業利益 (営業利益率)	5,567 6.3%	5,600 6.3% ~ 6,500 7.1%	33 ~ 933	0.6% ~ 16.8%
(同)				
経常利益 (経常利益率)	5,194 5.9%	5,600 6.3% ~ 6,500 7.1%	406 ~ 1,306	7.8% ~ 25.1%
(同)				
当期純利益 (当期純利益率)	3,917 4.4%	4,000 4.5% ~ 4,600 5.0%	83 ~ 683	2.1% ~ 17.4%
(同)				
P/L換算為替レート(期中平均) (USドル)	円 109.10	円 108.00	円 -1.10	-1.0%
(ユーロ)	121.14	121.00	-0.14	-0.1%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。

注) レンジ形式による通期予想を開示しています。

(2) 事業セグメント別業績

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業 売上高	42,587	42,500 ~ 43,500	-87 ~ 913	-0.2% ~ 2.1%
セグメント利益 (利益率)	1,706 4.0%	2,800 6.6% ~ 3,200 7.4%	1,094 ~ 1,494	64.1% ~ 87.5%
(同)				
テクノロジーソリューション事業 売上高	45,993	46,500 ~ 48,000	507 ~ 2,007	1.1% ~ 4.4%
セグメント利益 (利益率)	7,650 16.6%	7,000 15.1% ~ 7,500 15.6%	-650 ~ -150	-8.5% ~ -2.0%
(同)				

注) 各事業のセグメント利益は、管理部門等のコーポレート費用の調整額の消去前です。

注) レンジ形式による事業セグメント別業績の通期予想を開示しています。製品ライン別現地法人別売上の通期予想は開示していません。

(3) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期増減	
	通期実績	通期予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
資本的支出	1,791	2,050	259	14.5%
減価償却費	2,280	2,100	-180	-7.9%
研究開発費	4,214	5,360	1,146	27.2%

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。

注) 通期実績と通期予想には、リース資産に関わる設備投資額および減価償却費を含めていません。